



# 仰木中学校だより



令和6年11月20日発行  
第9号  
生徒数 552名  
HP版

## 人が育ち 人が輝く

## 充実した学び

### 2年 職場体験学習

10月29日～31日

“体験に勝るものなし”

『聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。自分でやったことは、わかる。』(中国の老子の言葉)  
そして…『自分で見つけ出したことは、自分のものになる。』

- 2年生では、10月13日(金)のワーキング講座、10月20日(金)のマナー講座の学習を経て、10月29日(火)～31日(木)の3日間、『職場体験学習』を実施しました。キャリア教育の一環として、職場での体験を通して働く人々の姿に触れ、「働く」との意義や自分自身の生き方を考えることを目的としています。
- 仰木・雄琴・堅田・真野・坂本・下阪本地域を中心に、2年生がこの体験を実施することができましたのも、受け入れていただいたすべての事業所様のおかげです。受け入れにあたっては、よりよい職場体験になるようにと様々な工夫をしてくださったり、商品の補充・整頓や品出し、レジ打ち、清掃、盛り付け、接客、介助、ラベル貼り等、実に豊富な体験をさせてくださり、こんなにも中学生の育ちや成長を応援して下さる方々が近隣地域にいらっしゃることに、大変感謝するとともに感謝の気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました。生徒は、普段見ることのない現場や、そこで働く方々の思いや生き方に触れ、学校では学べないことをこころと体で感じ取ってきた様子でした。巡回に訪れた本校教員にも丁寧にご対応いただき、感謝申し上げます。
- このご恩がお返しできるような、「支え合う地域共生社会の担い手」に育ってくれることを願ってやみません。下記に掲載させていただきました48事業所の皆様、ほんとうにありがとうございました。



- ▼マクドナルドびわ湖大橋店 ▼豚井信玄 ▼株式会社 来來亭 堅田店 ▼モスバーガー大津堅田店 ▼コマダ珈琲店 大津堅田店
- ▼セブンイレブン大津本堅田5丁目店 ▼クスリのアオキ雄琴店 ▼ウエルシア大津堅田店 ▼ワークマン大津雄琴店
- ▼アヤハディオ堅田店 ▼ダイソー&アオヤマ大津衣川店 ▼ユニクロ大津真野店 ▼有限会社レッツエスユー ▼株式会社シゲタ
- ▼浪乃音酒造株式会社 ▼菓子工房 道草 ▼KAKINOSATO DELI ▼生活協同組合コープしが コープかたた店
- ▼株式会社ハートフレンド フレスコ堅田店 ▼株式会社ハートフレンド フレスコ仰木の里店
- ▼株式会社ピアライフ ▼株式会社エム・ジェイホーム ▼大津市立北図書館 ▼大津仰木の里郵便局 ▼自衛隊(地域協力本部)
- ▼認定こども園はぐみの家 仰木星の子 ▼本福寺こども園 ▼大津市立天神山保育園 ▼せんだん保育園
- ▼大津市立仰木の里幼稚園 ▼大津市立仰木の里東幼稚園 ▼京都成安学園 成安造形大学
- ▼株式会社滋賀トヨタ ネット堅田店 ▼ネットトヨタびわこ株式会社堅田店 ▼滋賀ダイハツ販売株式会社 堅田店
- ▼株式会社ハートリンクケア 複合高齢者ケア施設 レイクヒル琴 ▼アクティバ琵琶 ケアレジデンス
- ▼しみんふくし滋賀仰木台デイサービスセンター ▼苺荷塾ワークショップさかもと ▼障害者福祉サービス事業所おおぎの里
- ▼株式会社プリズムわんわん保育園パパリッチ ▼エニタイムフィットネス大津堅田店 ▼オーバルオプテックス株式会社
- ▼株式会社雄琴荘 ▼暖灯館さくのみ ▼びわこ緑水亭 ▼株式会社琵琶湖ランドホテル ▼他 1事業所 (敬称略)



### お世話になった体験先から、印象に残ったことをお聞きました

(一部抜粋)

- 何事も素直に仕事をしていただいた。●わからないことはちゃんと聞き返してくれるので、意思疎通しやすかった。●挨拶や礼儀がきちんとしているのが好印象だった。●とても積極的で前向きな姿勢だった。指示したことが完了すると、すぐに次やることを求めてこられた。●打合せの時から礼儀正しく、受け答えもハキハキとしていて、第一印象が大変よかった。●従業員やお客様への挨拶をしっかり行い、接遇面の良さが際立った。●積極的に入居者様と接していて、こけそいになられた入居者様に駆け寄ってくださったのが印象的だった。●一つ一つ丁寧に仕事をしてくださった。●みんなが自らすすんで仕事をしようとする姿はよかった。●依頼されたことをしようとする姿から、自分で気がついたことに対して行動しようとする姿に変化した。●言われたことに対して一生懸命に取り組む姿。●初日にできなかったことや指導したことが、翌日には改善されていた。●教えていることに対してしっかりと話を聞き、うなずきながら真面目に取り組んでいた。●みんなで声をかけ合い、分担を考え、できない点はフォロー合っている姿が印象に残っている。●丁寧に子どもの思いを聞いて関わってくださる姿が見られた。●初日からとても意欲的で、1つの仕事に対して効率よく作業するにはどうしたらいいかを2人で考えながら取り組んでいた。●単調な仕事も嫌な顔ひとつせず一生懸命にこなしていく姿は、私達も見習うべき姿だった。●笑顔で会話できる、とても素晴らしい生徒さんだった。(事後アンケートより)

## “恩送り” ～受けた恩を他の人へと繋いでいく～

『恩送り』は、「受けた恩はこれから出逢う誰かにかえしなさい」という意味の言葉です。日本では江戸時代からある言葉らしいです。受けた恩を感謝の心とともに次の方へと送ります。人との和が世の中を巡り巡って、やがて大きな輪となるように、今回頂いたご恩と2年生の感謝の心が、ぐるぐると人から人へとつながっていくことを願っています。

## 新・生徒会 誕生

11月1日(金)・14(木)

## 生徒会 任命式・引継ぎ式

- 10月23日(水)に生徒会役員選挙があり、生徒会長と副会長2名(2年1名、1年1名)が投票により選出されました。その後、執行委員(事務局・書記・各常置委員会の正・副委員長)の募集があり、課題作文の提出と面接を経て、多数の候補者の中から、生徒会長の委嘱により、20名の執行委員が決定しました。
- 11月1日(金)には、校長から会長と副会長に任命書を渡し、新執行委員会に期待することを話しました。11月14日(木)には、新旧生徒会役員の引き継ぎも終え、新しい生徒会執行委員会の皆さんには、これからの仰木中生徒会活動の活性化と、地域にも貢献できる取組を期待しています。



## 大津市駅伝／県駅伝

11月5日(火)・15日(金)

- 11月5日(火)、希望が丘文化公園にて、第51回大津市中学校駅伝競走大会が開催されました。男子は、1～6区の区間(各3km)を、女子は、1～5区の区間(1,5区は3km、2,3,4区は2km)を、仰木中の”たすき”をつないで走りました。一緒に練習してきた仲間とともに迎えた当日のレース。今年も、「絶対、県大会に行くぞ!」という強い気持ちを持ち、仲間を信じて一人ひとりがベストを尽くして走り抜く姿を見て、「チーム仰木」の底力を感じました。この駅伝チームに名乗りをあげ、挑戦した選手のみなさんに心からの拍手を送ります。男女とも各1チームが、第4位に入賞し、県大会出場となりました。
- 11月15日(金)に開催された県大会には、男女各1チームが出場し、健闘しました。自分たちが掲げた目標や個人で設定した目標を達成しようと、強い気持ちをもって、あきらめずに挑戦しているところが仰木中生徒の立派なところです。



市駅伝 女子 第4位  
50'35"



市駅伝 男子 第4位  
1:03'42"



県駅伝 女子 第31位  
50'00"



県駅伝 男子 第19位  
1:02'37"

## 2年 しがスポーツ大使交流推進事業 夢の講演 『地域と共に目指す夢』

- 11月13日(水) 5校時、2年生のキャリア教育の一環として、しがスポーツ大使である女子硬式野球チーム「東近江バイオレッツ」から3名の選手が講演に来てくださいました。『地域と共に目指す夢』と題して、夢の見つけ方やキャリアの描き方、将来の夢を叶えるために実践すべきことなどについてお話しされました。
- 自分の進みたい道に自信が持てたり、またはこれから見つけようという中学生が、自分のやりたいことを前向きに考えたりするきっかけになるような内容でした。夢をもち、様々な困難にも臆することなく挑戦し続けられるよう前向きになれるお話でした。

●スポーツ、楽しそう。自分の行く道に正解はないらしい。●自分の夢を周りにいる人が応援してくれるので、感謝の気持ちを忘れずに大事にしようと思った。自分の夢を叶えるために自分の決断がとても大事なことに気づいた。●今日は将来についてや、今後の生活についてたくさん聞かせてもらった。●一度あきらめたことでも、自分の心にまだ残っていたら、まだ可能性があるということを知った。●後悔する前に挑戦しようと思える講演だった。(生徒感想より)



## シバザクラ 苗の植え付け

11月5日(火)・14日(木)

11月5日(火)・14日(木)の2回に分けてシバザクラの苗を植え付けました。15名の地域関係者の皆様にご協力いただき、仰木中生徒の有志や生徒会役員と教職員で、春にきれいなピンク色のシバザクラが咲くことを祈って、丁寧に植えました。



## 仰木の里学区 総合防災訓練に参加しました!

11月10日(日)

- 今年度の「仰木サミット」では、『つなごう仰木』のテーマのもと、「地域とのつながり」に重点をおき、地域と協働で「共助」の取り組みについて考えたり、体験したりする活動をしています。第1回仰木サミットでの自主防災会による講話を受け、地域の防災訓練に参加しました。2年生男子4名が、①搬送訓練、②消火訓練、③救護訓練、④給食給水訓練を体験しました。



- 身近な物で骨折などの応急手当ができることや担架などが作れることを知った。
- ケガ人を運ぶときに、担架を使わず人を動かす方法など、地震が起きた時に役立つことをたくさん知った。

- 給食訓練を体験したが、重い物を運ぶことが多いから中学生の協力が本当に大切だと思った。
- コミュニケーションは、災害の時に大切だと思った。